

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第4号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

# 東風季報

発行  
東北風景写真家協会  
仙台市宮城野区榴ヶ岡3-8-15  
東北カラーデューブ(株)内  
tel:022-256-2141  
編集 秋葉・進藤

## 東北風景写真家協会の発展を目指す

### 担当役員制導入へ

去る三月十日吉田カメラ仙台本店地下会議室をお借りして役員会を開催。今後の東北風景写真家協会の組織拡大とその為の魅力ある会の企画・運営について熱心に話し合いをしました。現在籍約八十名の会員の殆どは仙台在住の方ですが、今後他県にまで組織を広げた場合でも、組織体としてのスムーズな活動が必要で、その為、役員の役割担当者を選任し、今後の企画・運営等について具体的に打ち合わせました。

現在、当会の企画運営は役員間で連絡を取り合い、各種の行事を行っています。今後、会員の拡大と会の発展を見越した組織化について話し合い、各役員の中から、主な活動に関する役割担当者を選任しました。現在加盟の会員及び入会希望者に対し、会員のメリットや魅力ある企画・運営に努めてまいります。

今後、他県の会員が増え、他県からの参加も増えるようになると、撮影会には地元情報に詳しい地域の会員や知人に撮影場所の紹介や案内を依頼し、他県の会員も参加しやすくなる環境づくりを進め、交流も深めて他には無い魅力ある撮影会を企画してゆく。

現在、近畿日本ツーリスト等の協賛撮影会が中心となっている。会独自の一泊撮影会を主体に日帰りの撮影会も含め企画し、会への参加の魅力やメリットを会員が享受出来るようにする。撮影会には地元情報に詳しい地域の会員や知人に撮影場所の紹介や案内を依頼し、他県の会員も参加しやすくなる環境づくりを進め、交流も深めて他には無い魅力ある撮影会を企画してゆく。

会員拡大担当幹事  
幸野収三・松本 隆

現在、近畿日本ツーリスト等の協賛撮影会が中心となっている。会独自の一泊撮影会を主体に日帰りの撮影会も含め企画し、会への参加の魅力やメリットを会員が享受出来るようにする。撮影会には地元情報に詳しい地域の会員や知人に撮影場所の紹介や案内を依頼し、他県の会員も参加しやすくなる環境づくりを進め、交流も深めて他には無い魅力ある撮影会を企画してゆく。

写真展担当幹事  
藤枝克治・進藤弘融

写真展担当幹事  
藤枝克治・進藤弘融



松本隆幹事



幸野収三幹事



藤枝克治幹事



秋葉健一・進藤弘融

夏の気象を代表する  
高波は台風一過の

夏の暑さを表現する  
には、凧つた海にヨット等を背景に撮影する。この場合は暑さに負けずに日中の撮影となります。

夏の撮影の注意事項  
朝、夕の斜光線で高速シャッターを使い(マインナス)補正をして撮るとより効果的です。

滝・渓流  
暑さを避けて撮影するには、滝、渓流が最適です。スローシャッターで流れを強調するのは柔らかめのフィルムを使用する。

デジタルカメラではその場で確認ができますのでこのような心配はいりません。

私の失敗  
とかく物事上手くいった時に自慢したいし、失敗した時は隠しておきたいものです。写真の場合も例外ではありません。さて、そこで今回は恥を忍んで私の失敗談を記しました。この失敗談が皆様のお役に立てばと思います。

準備万端? その1  
某日「よし明日は作品をものにするぞ」と前の晩より撮影地の情景などを勝手にイメージしてうきうきして、翌朝早々に出発、現地に着き「うーん、これは素晴らしい、よし」とうなずき、車のトランクを開けてピクニック! カメラバッグ、フィルムは有ったものの、三脚が見当たらない。私のカメラは三脚なしでは写すことが出来ず愕然としました。しかし、「まあ、風も強いし、花も動き、どうせ良い写真は撮れない」と自分を慰めつつ、次のため近くの撮影地を探しながら帰路につきました。

格言: 作品作りは入れ込むが、入れ込みすぎると浮かれています。冷静にチェック!

二重撮りに注意  
今のカメラはフィルムを巻き上げるのも巻き戻すのもこのような事故は無いのですが、フィルムを使う前にISO100をISO400に入れ替える時があります。このような時が要注意。撮影中に夢になり、帰ってからフィルムを整理しているとき未撮影と思われるものを発見、「あれ! この一本撮影したのかな?」いやいや撮影してない! など悩むことしきり。万が一撮影済みのものを間違えて二重撮りしてしまつたら、36カット×2=72カット全てがパーとなる。仮に未撮影のフィルムを現像しても、フィルム+

現像代の損失で済みません。72カットのパーがフィルム代を損する場合は貴方次第です。格言: 疑わしきは現像せよ

午後夏の雲と水辺

夏の花・ハス・早朝

滝・スローシャッター

溪流・流れを強調

仙台にて開催されます。竹内顧問が関係したクラブの写真展が六月から七月に掛けて富士フォトサロン仙台と東北電力グリーンプラザにて次々開催されます。是非お出掛け下さい。

勉強会 佐渡の撮影ツアーの勉強会が七月四日午後一時半から戦災復興記念館にて開催されます。勉強のための参加は自由です。

富士フィルムの第二十二回みちのくの四季フォトコンテストに佐々木康照さんが優秀賞。横山久栄さんが佳作に入選をされました。

当会会員の入賞は大変喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。なお、応募の際は是非東北風景写真家協会の会員名を忘れずに記載!

写真展開催  
イ・山形県鶴岡市  
在任 南 正一  
会員写真展  
六月六日(金)

仙台市宮城野区在住  
菊田菊夫会員写真展  
昨年十二月に開催した丹頂鶴の居る風景「北・彩・詩」に続く第二弾。六月二十七日(金)から七月九日(水)まで全国の火花を写し溜めた作品を「華美」として多数展示します。

いずれも富士フォトサロン仙台にて開催されます。

仙台市宮城野区在住

菊田菊夫会員写真展

昨年十二月に開催した丹頂鶴の居る風景「北・彩・詩」に続く第二弾。六月二十七日(金)から七月九日(水)まで全国の火花を写し溜めた作品を「華美」として多数展示します。

いずれも富士フォトサロン仙台にて開催されます。

写真展開催  
イ・山形県鶴岡市  
在任 南 正一  
会員写真展  
六月六日(金)

仙台市宮城野区在住

菊田菊夫会員写真展

昨年十二月に開催した丹頂鶴の居る風景「北・彩・詩」に続く第二弾。六月二十七日(金)から七月九日(水)まで全国の火花を写し溜めた作品を「華美」として多数展示します。

いずれも富士フォトサロン仙台にて開催されます。

写真展開催  
イ・山形県鶴岡市  
在任 南 正一  
会員写真展  
六月六日(金)

仙台市宮城野区在住

菊田菊夫会員写真展

昨年十二月に開催した丹頂鶴の居る風景「北・彩・詩」に続く第二弾。六月二十七日(金)から七月九日(水)まで全国の火花を写し溜めた作品を「華美」として多数展示します。

いずれも富士フォトサロン仙台にて開催されます。

写真展開催  
イ・山形県鶴岡市  
在任 南 正一  
会員写真展  
六月六日(金)

仙台市宮城野区在住

菊田菊夫会員写真展

昨年十二月に開催した丹頂鶴の居る風景「北・彩・詩」に続く第二弾。六月二十七日(金)から七月九日(水)まで全国の火花を写し溜めた作品を「華美」として多数展示します。

いずれも富士フォトサロン仙台にて開催されます。

写真展開催  
イ・山形県鶴岡市  
在任 南 正一  
会員写真展  
六月六日(金)

仙台市宮城野区在住

菊田菊夫会員写真展

昨年十二月に開催した丹頂鶴の居る風景「北・彩・詩」に続く第二弾。六月二十七日(金)から七月九日(水)まで全国の火花を写し溜めた作品を「華美」として多数展示します。

いずれも富士フォトサロン仙台にて開催されます。

写真展開催  
イ・山形県鶴岡市  
在任 南 正一  
会員写真展  
六月六日(金)

仙台市宮城野区在住

菊田菊夫会員写真展

昨年十二月に開催した丹頂鶴の居る風景「北・彩・詩」に続く第二弾。六月二十七日(金)から七月九日(水)まで全国の火花を写し溜めた作品を「華美」として多数展示します。

いずれも富士フォトサロン仙台にて開催されます。

写真展開催  
イ・山形県鶴岡市  
在任 南 正一  
会員写真展  
六月六日(金)

写真展開催  
イ・山形県鶴岡市  
在任 南 正一  
会員写真展  
六月六日(金)

特集 北東北を写す

陸中海岸北部 岩手

陸中海岸北部の景観のよい三ヶ所の撮影スポットを紹介しつづけます。

浄土ヶ浜

陸中海岸を代表する景勝地で、鋭く尖った白い石英粗面岩が、恐竜の歯のように林立します。岩は一つ一つが、違った形、異なる表情を見せて海岸を彩っています。松の緑に飾られた岩肌の白と、海の群青とのコントラストが見事です。



夜明けの浄土ヶ浜

空と海の色が夕闇に似てくると、水平線の間際に漁火が見られ、漆黒の間に浮かぶ宝石のようなきらめきが、満点の星とともに幻想の世界へいざないます。

三王岩

白亜期に誕生した奇岩で、中央の男岩が高さ50m、両岸に女岩と太鼓岩が寄り添ってそびえ立つ姿は圧巻です。遊歩道

に沈む夕日、秋田港の釣り人など、数え上げたらきりが無いほど素晴らしい風景があります。春は三月中旬から柔らかな太陽が現れます。たい

日本海、秋田・夕焼け

夕焼けとの巡り合い。これが意外と大変、一月の間に何回素晴らしい夕日に巡り合えるでしょうか？ 精々二、三回が関の山です。また夕日だけでは何の変哲も有りませ

だこの期間は天候が安定せず夕日に巡り合えるのは数えるほどです。四月は春霞がたなびき、太陽は水平線の遙か上の方で霞みの中に消えてしま

田代平湿原

青森県の委員会に閉与することになって十年余り、四季を通して青森に出かけている。十和田・奥入瀬・八甲田のゴールドラインがあり、季節ごとの撮影スポットとしてもすばらしい。

八甲田連峰の北東麓に位置する田代平湿原およびその入り口の八甲田温泉は私の好きな寄り道スポットである。雪の深いこの地域では、湿原の春は遅く雪がとける五月以降となる。六月から七月の湿原には、ワタスゲ、キンコウカ、ヒツジグサ、ニッコウキスゲなどの

焼けがある。霧が降ったり、猛吹雪の一瞬の間に突如目の眩むばかりの風景、嗚呼カメラを持っていけば！と思つたところが数年の間に何回かありました。



太公望最良の日

駐車場から遊歩道を十分ぐら歩いて湿原に至ると、高層湿原の池や植物群と前にそびえる八甲田連峰が見事である。

田代平にはゴールドラインから寄り道するのが一般的である。また、八戸道を一戸ICで降り、四号線を十和田市まで北上する。そこで西に折れ青森・田代・十和田線(四〇号線)に入り、田代平方面へ向かう。途中広大な牧場を抜ける。



太公望最良の日

写真・・・こんな話、あんな話 第3話 リバーサルフィルム 現像は純正仕上げ

今回は、「リバーサルフィルム現象(以下、R現象と記します)は純正仕上げが良いのか？」という疑問にお答えします。

結論から言いますと、「純正仕上げが良いとは限らない」です。化学的に考えますと、現在のR現象は一部のフィルム(コダクローム)を除いては、現像処理方式が同一です(コダックE-6処理、フジCR-56処理)です。非純正(フジをコダックE-6処理、コダックをフジCR-56処理)でも、結果は同じです。でも純正にこだわる人はそれで良いのでしょうか。

ところが、もっと大事な要素がR現象にはあるのです。その要素とは「現像機の安定した現像液管理」です。純正、非純正の違い以上に、液管理のバラツキが大きく仕上がりに左右します。まさかと思う方は、同条件で撮影したフィルムを別々の現像所に出してみてください。微妙に色合いが違います。ネイチャーを撮影する方はあまり気がつかないと思いま

今回は、夏に向けての内容を取り上げ、青森、秋田、岩手、いわゆる北東北の紹介を特集しました。この地域をこよなく愛し、通いつめた熱意が感じられます。さて、季報も発行以来、第4号となり、約1年が経過しました。季節の写真を意識しつつ、みちのくの撮影スポットを紹介してきました。会報の様式も内容も試行錯誤でしたが、これからの発展の可能性としてお許しいただきたい。

今回は、夏に向けての内容を取り上げ、青森、秋田、岩手、いわゆる北東北の紹介を特集しました。この地域をこよなく愛し、通いつめた熱意が感じられます。さて、季報も発行以来、第4号となり、約1年が経過しました。季節の写真を意識しつつ、みちのくの撮影スポットを紹介してきました。会報の様式も内容も試行錯誤でしたが、これからの発展の可能性としてお許しいただきたい。

今回は、夏に向けての内容を取り上げ、青森、秋田、岩手、いわゆる北東北の紹介を特集しました。この地域をこよなく愛し、通いつめた熱意が感じられます。さて、季報も発行以来、第4号となり、約1年が経過しました。季節の写真を意識しつつ、みちのくの撮影スポットを紹介してきました。会報の様式も内容も試行錯誤でしたが、これからの発展の可能性としてお許しいただきたい。

編集後記

今回は、夏に向けての内容を取り上げ、青森、秋田、岩手、いわゆる北東北の紹介を特集しました。この地域をこよなく愛し、通いつめた熱意が感じられます。さて、季報も発行以来、第4号となり、約1年が経過しました。季節の写真を意識しつつ、みちのくの撮影スポットを紹介してきました。会報の様式も内容も試行錯誤でしたが、これからの発展の可能性としてお許しいただきたい。

今回は、夏に向けての内容を取り上げ、青森、秋田、岩手、いわゆる北東北の紹介を特集しました。この地域をこよなく愛し、通いつめた熱意が感じられます。さて、季報も発行以来、第4号となり、約1年が経過しました。季節の写真を意識しつつ、みちのくの撮影スポットを紹介してきました。会報の様式も内容も試行錯誤でしたが、これからの発展の可能性としてお許しいただきたい。

今回は、夏に向けての内容を取り上げ、青森、秋田、岩手、いわゆる北東北の紹介を特集しました。この地域をこよなく愛し、通いつめた熱意が感じられます。さて、季報も発行以来、第4号となり、約1年が経過しました。季節の写真を意識しつつ、みちのくの撮影スポットを紹介してきました。会報の様式も内容も試行錯誤でしたが、これからの発展の可能性としてお許しいただきたい。

今回は、夏に向けての内容を取り上げ、青森、秋田、岩手、いわゆる北東北の紹介を特集しました。この地域をこよなく愛し、通いつめた熱意が感じられます。さて、季報も発行以来、第4号となり、約1年が経過しました。季節の写真を意識しつつ、みちのくの撮影スポットを紹介してきました。会報の様式も内容も試行錯誤でしたが、これからの発展の可能性としてお許しいただきたい。

今回は、夏に向けての内容を取り上げ、青森、秋田、岩手、いわゆる北東北の紹介を特集しました。この地域をこよなく愛し、通いつめた熱意が感じられます。さて、季報も発行以来、第4号となり、約1年が経過しました。季節の写真を意識しつつ、みちのくの撮影スポットを紹介してきました。会報の様式も内容も試行錯誤でしたが、これからの発展の可能性としてお許しいただきたい。

今回は、夏に向けての内容を取り上げ、青森、秋田、岩手、いわゆる北東北の紹介を特集しました。この地域をこよなく愛し、通いつめた熱意が感じられます。さて、季報も発行以来、第4号となり、約1年が経過しました。季節の写真を意識しつつ、みちのくの撮影スポットを紹介してきました。会報の様式も内容も試行錯誤でしたが、これからの発展の可能性としてお許しいただきたい。